

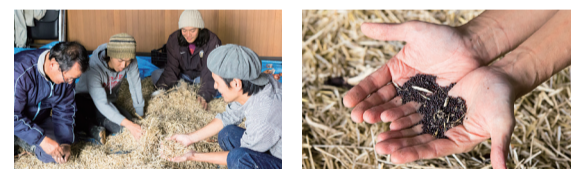
米や野菜で
自然農法に挑戦！
若き力を合わせ
それぞれの未来を描く。



広島県福山市

米・野菜
表崎 桂太さん・東雲 大起さん・平山 智也さん

左から、バックパッカーで世界8カ国を巡った経験もある福山市出身の表崎桂太さん(32)、愛知県にて工場勤務後、就農していた東雲大起さん(35)、岡山で古着店店長を務めた後、妻の実家の田尻に転居した平山智也さん(36)。



菜の花の種を手に取り、「古くからの伝統を大事にしたい」と声をそろえる3人。地域の人の尽力で、3人の農地の借用もスムーズだった

農薬を使わずに育てたアサヒ米と黒米を
はぜ干し



(1)菜の花まつりが開催され、30万本の菜の花が咲くことで有名な田尻町。3人は観光用、搾油用に菜の花の種をまく予定だ (2)表崎さんの師匠であり「野菜作りのスペシャリスト」、田内農園の田内敏巳さん(70)。有機JAS認定事業者で、10数年前から農薬を使わずに野菜を作っている



この地にゆかりのない若者が
田尻の農業を受け継いでいく

— 就農のきっかけは？

平山さん：岡山市で古着店の店長として働いていましたが、昨年4月、この田尻町に住むことに。もともと農業への関心があったため、畑を借り、独学でスタートしました。

東雲さん：愛知県豊橋市の工場に勤務していました。とある縁で知り合った人の影響で農家に転職し、福山市の農業や研修制度を知りました。

表崎さん：3年前に田内さんの農業を使わない野菜を食べて、味の違いに衝撃を受け、有機栽培の指導を受けながら田尻町で野菜や米を作るようになりました。

— 今後の抱負を聞かせてください
平山さん：ここに来て、3人の子どもたちと一緒に食事をする回数も増えました。将来、わが子が「継ぎたい」と思ってくれるような農業人になりたいですね。

東雲さん：ゆくゆくは、生産だけでなく、自分たちの野菜を使った飲食店を営んでみたいと思っています。

表崎さん：宿泊提供に農作業を組み込んだ「WOOF(ウーフ)」制度を導入し、外国の方にもこの地に足を運んでもらいたいです。

DATA

福山市役所 地産地消推進課

[お問い合わせ]
広島県福山市東桜町3-5
TEL:084-928-1242